

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月:平成 28 年 3 月

1.対象事業	霞ヶ浦湖北流域下水道・土浦市公共下水道 合流式下水道緊急改善事業				
2.実施主体名称	茨城県・土浦市				
3.計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度				
4.対象事業の進捗状況	計画に基づき、以下の対策を完了している。 ①汚濁負荷量の削減・公衆衛生上の安全確保 ・雨水滞水池の設置(亀城ポンプ場・貯留量 5,325m ³)土浦市 ・雨水吐の越流堰嵩上による遮集倍率の向上(桜川ポンプ場及び亀城ポンプ場・3Q→7Q)土浦市 ・簡易処理施設の増強(霞ヶ浦浄化センター・2Q→6Q)茨城県 ・分合流の分離(霞ヶ浦浄化センター)茨城県 ②きょう雑物の削減 ・ポンプ場スクリーン目幅縮小(桜川ポンプ場及び亀城ポンプ場)土浦市				
5.目標の達成状況と達成の見通し					
■目標の達成状況					
項目	内容	対策前	目標値	事後評価結果	
①汚濁負荷量の削減	汚濁負荷量削減率 (分流並みとする)	40.1t/年	17.1t/年 (削減率57%)	削減率57%	
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数 (越流回数を半減)	桜川ポンプ場	51回	25回 (半減)	25回
		亀城ポンプ場	45回	22回 (半減)	16回
③夾雑物の削減	細目スクリーン設置箇所 (流出の防止)	0箇所	2箇所 ・亀城ポンプ場 ・桜川ポンプ場	2箇所 ・亀城ポンプ場 ・桜川ポンプ場	
事後評価の結果、全ての項目において目標を達成している。					
6.対象事業の整備効果の発現状況					
①汚濁負荷量の削減:目標である削減率 57%(40.1t/年→17.1t/年)に対し、削減率は 57%となり達成率は 100% * 事後評価では、モニタリング降雨時による削減量を算出(1280kg→545kg)し削減率は 57% ②公衆衛生上の安全確保:目標である未処理放流回数の半減に対し、桜川ポンプ場では 51 回が 25 回で達成率 100%、亀城ポンプ場では 45 回が 16 回で達成率は 100%以上 ③夾雑物の削減:目標である 2 箇所に対して細目スクリーンを設置し、達成率は 100%					
7.事業の効率化に関する取り組み状況	○計画策定時において、複数の改善対策について比較検討し、最も経済的で効率的な手法を採用し、改善目標を達成。 ○雨水沈殿池については処理場(霞ヶ浦浄化センター)内に新設する計画であったが、流域下水道全体計画の見直しにより既存施設の改造による対応が可能となったため、より経済的かつ効率的に対策を実施。				
8.今後の方針	今回の事後評価により、本合流式下水道改善事業の改善対策は改善目標を達成できていることが確認された。今後はこの効果を維持するため、亀城滞水池の堆積土砂排出などの維持管理を適切に行い、霞ヶ浦水域の水質保全に努める。				